

中学校(技術・家庭科)の指導事例 (一部抜粋)

中学生・高校生対象のプログラム (プログラム集1-②P14~P17)

幼児を知ろう

1 本時の目標

親子の観察を通して、幼児の望ましい成長には心身の発達に応じて適切なかかわりが必要であり、子どもが育つ環境としての家族の役割について考えることができる。

2 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
親子のかかわりについて、熱心に観察し、幼児の発達を支える家族の役割について考えようとしている。			幼児の発達を支える家族の役割について理解している。

3 展開例

時間	生徒の活動	教師の働きかけ、評価
2	○2組の親子を迎え、幼児を目の前にしての感想を発表する。 課題設定 学習課題 親子のかかわりや子どもが育つ環境としての家族の役割について考えよう。	○年齢の違う幼児(1歳・4歳)の親子を迎え、自己紹介をしていただく。可能であれば、班ごとに親子に入ってもらえるよう6組の親子にお願いをする。 ○幼児に関心を抱かせる。
10	○親子のかかわりを観察し、班で話し合いながら、気づいたことを書きとめる。(ワーク1) ○子育てについて質問したいことを考え、書きとめる。(ワーク2)	○幼児だけに目がいきやすいので、親の子への対応に注目するよう声かけをする。 ○子育てする上での喜びや苦労について引き出す。 ☆親子のかかわりについて、熱心に観察し、幼児の発達を支える家族の役割について考えようとしている。(関心・意欲・態度) ▼努力を要する生徒への手だて →友達の気づきを参考にさせ、もう一度親子のかかわりを観察するよう促す。
15	○親に質問する。友達の質問をよく聞き、同じ質問だったら「ワーク2」に書き込む。自分は考えなかった質問でも、大切な点はメモをする。	○時間が許す限り生徒の考えたすべての質問に答えてもらうようお願いをする。 ○同じ内容の質問なら、自分が質問者でなくても書き込ませる。

(「親の学習」プログラム集の手引から)

ワーク1 親子のかかわりを観察し、気づいたことをメモしてみましょう。

気づいたこと 1

気づいたこと 2

気づいたこと 3



ワーク2 子育てをしているお母さん、お父さんに直接聞いてみましょう。

質問その1



質問その2



(「親の学習」プログラム集から)